

タブレット端末を活用した地域との連携事業(2年次)

1 事業企画 平成27年度公益財団法人福島県学術教育振興財団助成対象事業

＜本校事業名＞ 児童生徒一人一人に応じた地域との交流及び連携における
タブレット端末の活用を中心としたICT教育の推進

2 目的 ※交流及び共同学習は以下：交流・タブレット端末は以下：端末

- (1) 学校間交流、居住地校交流、訪問教育(在宅で学習する)児童との交流で、ICT機器を活用して相互のふれ合いを広げ、豊かな人間性を育む。
- (2) 児童生徒の状態に応じた端末のアプリケーションを活用したり、ネットワーク通信で交流したりしてふれ合いを深める。
- (3) 産業現場等における実習において関係機関との事前・事後の打合せで端末を活用したり、生徒自身が活用したりして、生徒に応じた進路指導の充実を図る。

3 事業に関わる関係機関(計画) ※産業現場等における実習は以下：現場実習

＜小学部＞：学校近隣の小学校 本校児童居住地校で交流する小学校
＜中学部＞：学校近隣の中学校 市内中学校の特別支援学級 現場実習の関係機関
＜高等部＞：市内の高等学校 他県の特別支援学校高等部 近隣の老人施設 現場実習の関係機関
＜地域の特別支援教育センター『しせい』＞：相談等の連携事業を行う関係機関

4 活用するICT機器の紹介

タブレット端末(事業内容に応じた台数を活用)※各端末用ケース等アダプタ
データベース用パーソナルコンピュータ(本校で活用)・ネットワーク通信用機器(期間限定)
液晶モニター・大型液晶TV(本校で活用)※端末との接続アダプタ
ワイヤレススイッチボックス・スイッチ(児童生徒の状態に応じた端末操作の器具)

5 活用方法

- (1) 交流での取組(事前・当日・事後のICT機器の活用、担当者間の打合せにおける端末の活用)
 - 自己紹介、学校紹介、活動説明、メッセージ等のVTRの作成・視聴(TV電話の活用等)
 - コミュニケーション及びゲームのアプリケーション活用、スイッチボックスを活用した端末操作
 - 事後の振り返り(画像、VTR)、感想・メッセージVTRの作成、視聴
- (2) 進路指導での取組(現場実習における関係機関との連携)
 - 現場実習の事前、期間中、事後の関係機関との連携における端末の活用(プロフィール等の生徒の紹介、現場実習の目標・内容等の共通理解 等)
 - 生徒による端末の活用(実習施設や利用交通機関等を端末で確認、実習の様子振り返り、事後報告会で活用 等)
- (3) 関係機関との連携(昨年度の事業から継続)
 - 地域の「幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校」、「医療・保健・福祉・労働機関」等との連携
- (4) 研修・講習会・広報(事業内容のWeb上での広報 ※昨年度から継続)
 - 校内研修会(ICT活用研修出張の報告会・ICT機器の実技研修・事業報告会)
 - 夏季特別支援教育セミナー(ICT教育の外部専門家講師を招聘しての研修会)

6 その他

- 関係機関には担当者間打合せ等で、事業の趣旨・目的・方法等を十分に説明させていただきます。交流学習の取組では、要望に応じて本校担当者が事前に伺い、説明・授業協力等を行います。
- その他、不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。また、講習会・セミナーの参加を希望する場合にもご連絡ください。